



札幌東支部

岩田 圭史

Kiyoshi Iwata

11月になり、本格的な寒さに向かってきました。

繁忙期に向けて体調を崩さないようにと、外出を控えようとする方が多くなるなか、私の活動は本格化。私の趣味の一つはスキーなのですが、短いシーズンを充実したものにすべく、ひたすら山に通うのです。

例年11月中旬になると、いくつかのスキー場がオープンするのですが、私は毎年子供を無理やり引き連れてオープン初週に初滑り。さっそく今シーズンも11月18日（土）に札幌国際スキー場に行ってきました。北海道のほとんどのスキー場は天然雪のため、オープンできるかどうかは天頼みですが、今年は平年より雪の具合が良かったようで、なかなか良い雪を楽しむことができました。

子供がまだ小さいので1人で好き勝手滑りに行くことはできませんが、子供が3歳になってからは「子供にスキーを教える!」という名目で、26年シーズンは32回、27年シーズンは39回、28年シーズンは52回、29年シーズンは72回ほどスキー場に通ってしまったようです。行く先々でこんな話をするから、「仕事しろ（笑）」と言われるのです。

1990年代前半のスキーブームが去ってから、スキー人口は3分の1程度に減少、スキー場は約2割廃業、そして国産スキーメーカーの多くが倒産、事業撤退してしまいました。でも最近では、中高年の方々や子育て世代を中心に、安価なリフト券種の導入や子育てサポート施策により2012年ころからスキー客が徐々に増えてきています。今回の札幌国際スキー場にもたくさんのお客さんが来場し、とても活気がありました。

平成28年新設されたフード付きクワッドリフトや、昔高額だったリフト券も、大人2,500円（期間限定）、小学生1,000円、未就学児無料と、子育て世代にもとても優しい料金設定に変わっています。

また、ホームゲレンデにしている南区藤野にあるFu's スノーエリアでも、ペアリフト新設の他に、スキースクールシーズン会員（大人・子供）16,100円、大人3時間リフト券1,800円（サポートさっぽろに入ると1,200円）、未就学児リフト無料など、こちらも子育て世代に配慮した料金設定です。

昔スキーをしていて久しぶりに滑りたいと考えている方や、健康のために何かとお考えの方は、ぜひぜひスキーをしてみませんか？

なお、11月16日（木）・17日（金）はニューメンバーズフォーラムで大阪。セミナーの他に大学時代の友人と大騒ぎするため前日入りして、16日の朝は市内観光と称して大阪の街を16kmランニングしたにも関わらず18日は初滑りへ。だから今月の巡回監査でも「仕事しろ（笑）」と言われるのです。



ゴンドラから



5歳の子供と初滑り



ファミリーコース